

週間聖書勉強の学び

＜『イザヤ書』の「残りの者」(イザヤ10:20) について＞

林明基牧師

預言者イザヤは紀元前8世紀から7世紀にかけて北イスラエル王国と南ユダ王国において預言活動をしていました。彼が活動し始めた頃はちょうど、南にあるエジプトと北西にあるアッシリアとの間に力の空白が生じていました。北イスラエル王国と南ユダ王国は、政治的にも経済的にも安定し、繁栄をした時代でした。しかし、宗教的、道徳的には墮落した時代でもあります。神様は紀元前721年にアッシリア帝国を用いて北イスラエル王国を滅ぼし、紀元前586年にはバビロン帝国を用いて南ユダ王国を滅ぼされました。しかし、神様はすべてを滅ぼされたのではなく、バビロン捕囚民を残されました。そして、そのバビロン捕囚民を用いてイスラエルを再建されました。それが預言者イザヤの預言にある「残りの者」という言葉の意味です(イザヤ10:20-22)。預言者イザヤの他にもアモス、ミカなどの預言者も「残りの者」を教えています。

使徒パウロはローマの信徒への手紙9章27節においてこのイザヤ書10章22節を引用してイスラエルの残りの者について教えています。また、「神様はご自分が選ばれた民(ユダヤ人)を捨てられたのではない」(ローマ11:1)とも教えています。神様が預言者エリヤの時代に7000人を残しておられたのと同じように(列王記上19:18)、また、預言者たちを通して語られたように、神様は「残りの者」をもって神の国イスラエルを再建されるのです。

この「残りの者」が本当の意味での「選ばれた民」(保全された民)です。しかし、この「残りの者」はただ苦難を乗り越えた者ではありません。使徒パウロが教えているように、主イエスキリストに選ばれ、今、主と共に歩む者です。その人が「残りの者」、真の「選ばれた民、イスラエル」です。



★ コロナ禍の中で いかがお過ごしでしょうか？

このとんでもないコロナウイルスは 私達の生活を大きく変えました。

しかし、神様は憐れみの神様だって事を信じて この苦難の時期を 忍耐をもって神様のみ言葉に従いしながら 1日1日生きていたら 必ずコロナは終息して、神様のみ国の回復と平和が 満ち溢れると思います。私達クリスチャンに与えられた特権！お祈りとみ言葉でこの時期を乗り越えましょう!! (呉賢子)

★ 詩篇14:2「主は天から人の子らを見渡し、探される/目覚めた人、神を求める人はいないかと。」この御言葉を見ると、初めて京都教会の礼拝堂に足を踏み入れた時を思い出します。

私が信仰を持つようになって4年。

クリスチャンではない家庭で育ち、今でも家族や親族にクリスチャンはいません。

そんな環境のもとにいる私が、初めて京都教会で礼拝を捧げたときは正直不安でした。教会のことも、聖書の御言葉もよくわからないのに、この場所にいていいのだろうか。悩み、恐れ、怖さ…などの感情とともに壁の十字架をただ見つめるだけでした。

礼拝も終わりに近づこうとしたとき、私の目からすうっと涙がこぼれました。「あ、神様があたにかい御手を差しのべてくださった」

マタイ18:20「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである」

素直に受け入れなさい、と 神様がおっしゃられたのだと思います。小さな私を、神様が御心に留めてくださり、顧みてくださいました。

あれから4年たった今も、罪深い私がいいます。それでも神様はあふれる愛で包んでくださいます。これからも「主よ、恵みの御業のうちにわたしを導き/まっすぐにあなたの道を歩ませてください。詩編5:9) 慈しみ深い主よ、感謝いたします。アーメン(田上尚巳)



★ 《姉のこと》

昔は子どもの多い家庭が普通でしたが、私もそのような家庭で 子ども時代を 下関で過ごしました。兄弟の一番上は姉でしたが、母親代わりに 下の子どもたちの面倒を良くみていました。そして若くして2歳年上の義兄と結婚しました。私たち一家総勢で東京へ転居した後、姉夫婦も東京に来ました。

姉夫婦は精密機械の搬出入、据置の運送会社を立ち上げ、当時の高度経済成長の波に乗ってか、事業は順調に滑り出しました。一男一女を育て、娘を 海外宣教をする日本人牧師に嫁がせました。幸い事業のおかげで余裕があったので 娘に援助することは勿論、今回の京都教会の建築の時も、私の希望に応じて献金に協力してくれました。しかし姉夫婦も年をとるにつれ 仕事を続けることが出来なくなり、後継者もいないので 会社を整理することにしました。倒産の形にするのが 一番損失が少ないと言うのですが、今まで誇りとしていた会社に汚点を残したくないからと 自らの資産を投入して整理しました。そして東京での暮らしを打ち切り、青春時代を過ごした下関に家建て 夫婦二人で過ごすことにしました。しかし 若い頃あれ程活発でしっかりしていた義兄も 時々記憶を失い、まだら認知症の症状を見せるようになりまして。徘徊も度々あり、時には 具合が悪くなって救急車で運ばれたりもしました。気丈な姉ですが限界を感じ「もう面倒見ない」と言うと 義兄は「御免なさい。気をつけるから大きな声で怒らないでください」と真面目に答えを返すので、つい笑いがこぼれ 涙も出て来るのでした。いつも家族の先頭に立って引っ張ってくれた夫が このように年老い自立も出来なくなり 心細い限りでしたが、姉はイエスさまが自分を支えて下さるから大丈夫だ と言っていました。何かあると直ぐ駆けつける娘、ほぼ毎日電話をかけてくる息子も慰めになり 夫の介護を続けられたと思っています。その義兄も今年3月に89歳で老衰のため天国に旅立ちました。

生前義兄は 調子のよいときはいつも「子ども、孫には十分してきたので、残っているお金は全てあなたが使いなさい。僕が先に天国に行くから あなたは地上生活を楽しんでから天国に来なさい。天国の入

口の一番前で待っているから心配せず来なさい。必ず見つけ出し、手を引いてあげるね。」と書いていました。残り少ない日々を生きていく上で励みになる、素敵な言葉を姉に与えてくれたこと、わたしの励みにもなっています。姉もこの20年間がんと戦っていましたが、あらゆる治療を勧め、姉の為に使うお金は惜しくないという義兄のおかげで、今静かに余生を過ごしています。

姉は義兄の深い愛情に感謝して日々祈り、賛美し、聖書を読み、天国にいる夫の言葉をかみしめ、残された人生を全うしようと頑張っています。私も姉夫婦のようになりたいと思います。考えてみればわたしの前にいつも姉がいて、愛され導かれていました。クリスチャン姉妹の喜びでもあります。

(文野清子)

★ この度、今までの「教育部だより」を もう一度読み返してみました。文章を読んでいく内に、最初は 文を書いた方々の顔だけが 浮かんだのが、だんだん 声までも 聞こえてくるような気がしました。礼拝をはじめ、様々な所で不自由な経験をしている中で、神様との深い交わりを通して守り続けている信仰や 日常生活での率直なお話に 安らかな感動を覚えました。例年に比べて遅く開かれた女性会総会より 2ヶ月が過ぎました。「聖徒の交わり」が制限されている 大変な状況ではありますが、女性会では「聖徒の交わり」のために、去年から教育部だよりを発行し始め、また、今年の5月からは 音楽部から配信される讃美を通じて 各自の場所で 恵みの時間を分かち合っています。家庭訪問や親睦会、食事率仕など まだ活動出来ない部分も たくさんありますが、知恵と力をくださる神様が 一番良い道を備えてくださることを 信じます。

京都教会の兄弟姉妹が 愛の紐で繋がりが離ればなれにならないことを願いつつ、マスクを外し みんなで集まって礼拝をささげられるその日まで 健康と恵みと感謝があふれる日々を送れますよう お祈りします。(千末仙)



★ シャローム!

今年女性会に入ったチェウンヨンと申します。

投稿を頼まれて、どんな文章を書けばいいか悩みながら、たくさんのことを考えました。

その中で思ったのは、やはり今の状況について考えるようになりました。

2019年12月から始まったコロナウイルスがもう3年目になります。

それによって我々の人生が本当にたくさん変わってしまいました。 すぐにでも私の故郷である韓国に帰ることが大変難しくなりました。

故郷に帰れず、家族と友達に会えないのは、本当に大変で悲しいことです。また今、マスクなしではどこにも行けなくなり、以前は自由にしていた旅行も、以前のようにできなくなり、多くの人々が生計を脅かされています。

私はこの状況の中で、何をすべきかを考えてみました。

そして今この状況の中で神様が私たちに下さるメッセージが何なのか考えました。 あまりにも大変なこの時期に、私たちは挫折し、絶望し、神様から簡単に還さかることができます。

しかし、今の時期こそ、もっと祈って感謝すべきだということに気が付きました。

本当に大変な時期ですが 皆さん、神様の子供として クリスチャンとして もっと祈って、もっと感謝し、この大変な時期をうまく乗り越えて勝利する私たちになることをお祈りします! (崔恩榮)

★ 《母の日の主日に愛と恵みを思いつつ》

みなさん、こんにちは。私は 京都教会女性会の 権寧子です。昔、母は私たちきょうだい5人を 産み育て成長させてくれました。恩と恵みを 神様と母に感謝したいです。昔は薪(たきぎ)を燃やしてご飯と料理を作り 洗濯もすべて手で洗った時のことを思うと 苦勞と骨折りをたくさんされたこと 本当に申し訳なく 感謝します。この世に生きておられた時に もっとよくしてあげて 贈り物も買ってあげればよかったのにと 今思いながら 不十分で考えが足りず真心が無くて とても後悔しています。亡くなった後によくしてあげること すべてよくできなかったことも ゆるして理解してくれていると 信じます。みなさんどうぞ ご両親が生きておられる時に いろいろよくしてあげてください。

♪産みの苦しみすべて忘れ 育てるときは日夜努力する心 濡れた寝床を 乾いた寝床に 換えて寝かせ 手足がすり減るほどに 苦勞されましたね♪ この歌を思い 会いたいと思うとき 涙が出ますね。天国に行った母の恩に 感謝の気持ちだけです。これからお父さん方お母さん方の健康のために 教会の聖徒とすべての機関を祝福し 助けてくだされば 神様が私たちの京都教会を覚えて 子どもと青年たちをたくさん送ってくださることを願う気持ちで 熱心に祈ります。神様の 求めれば与えられる という御言葉を信じ お祈りをお願いします。

人生は一度だけです。今日がすばらしく 幸せで 後悔のない一日となりますよう お祈りいたします。

♡好きな聖書のことばの中から

主の慈しみとまことはとこしえに/私たちを超えて力強い。/ハレルヤ。(詩編117:2)アーメン。
讃美歌の中では 579番、445番、200番が本当に好きです。(権寧子) (日本語訳:康玲子)



♡♡ ヘブライ人への手紙4:12

「というのは、神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髄とを切り離すほどに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができるからです。」

♡♡ ハレルヤー! 主の御名を賛美します。

この度、女性会教育部長を務めさせて頂きます林美善です。まだまだ未熟で分からない事や いたらない所が多々あると思います。温かい目で見守り、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。 どうぞよろしくお願い致します。

神様の限りない愛と平安が皆様と共にありますようお祈りします。

※今年(2021)教育部だよりは 5月、8月、11月 計3回の発行を予定しています。

メール (mison3252@gmail.com)

教会あて TEL (075-311-5051) / FAX (075-313-3778)、郵送など。

教育部・林美善まで。